



柴田 義継 議員

経済建設部長

平成22年度に線引きの見直しがあるようだが、開発される市街化区域、調整区域との調整をどのように考えているのか。

経済建設部長

全市の面積6千663haの内、市街化区域が315haで、市街化率は約4.7%である。今回の変更は地形、地物の変更に伴う軽微なもの。市街化区域については、市としてはある程度土地利用の拡大を図りたいと考えるが、県が抑制の方向にある中では難しい。

質問

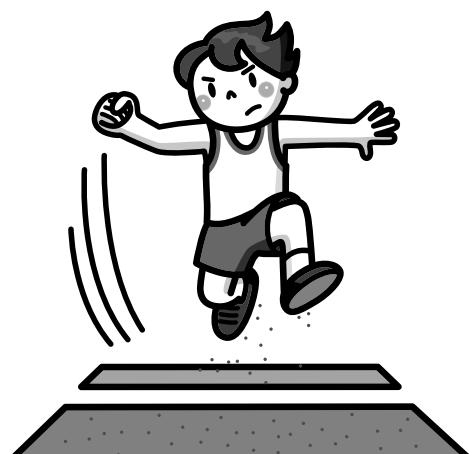
平成22年度に線引きの見直しがあるようだが、開発される市街化区域、調整区域との調整をどのように考えているのか。

質問

現在、勝幡駅周辺の整備を進めているところだが、駅にテナントを入れるような官民一体となっての開発はできないか。

愛西市らしい都市開発

望ましい運動習慣



教育部長

3年生が陸上・器械運動との選択実施となつており、以前より授業時間は減少している。一般開放について、学校管理下での使用を目的として設計されている。したがって、安全面での管理が心配される

教育部長

愛西市の小・中学校においては、部活動の所属率も平日の運動実施状況も、県平均より10ポイント以上高くなっている。今後も望ましい運動習慣を身に付けるよう働きかけていきたい。

質問

学校のプールの使用時間が減ってきたと聞いているが、なぜか。また、管理を民間委託し、一般開放はできないか。

質問

ため、現時点では考えていない。